

# 令和5年度 江東中学校経営方針

## 1、江東中教育の基盤

校訓：『自主・連帯・創造』

学校教育目標

『未来に向かって、主体的に、心豊かに、

つながりを大切にして生きる生徒の育成』

【目指す生徒像（校訓より）】

- (1) 自主 「よく考え、自分から物ごとに取り組む生徒」（学力）
- (2) 連帯 「認め合い、つながり合って、ともに伸びる生徒」（人間力）
- (3) 創造 「よりよい生活を創り出そうとする生徒」（社会力）

【目指す教員像】

- (1) 人間性豊かで、徹底した生徒理解を基盤に教育活動を展開する教職員
- (2) チーム江東の一員として共に切磋琢磨し、協力する教職員
- (3) 研修に励み、専門的知識・技能の向上に努力する教職員
- (4) 保護者、地域などから信頼される教職員



目指す江東中学校像

- (1) 自他を大切にできる心を育てる学校 （人権・同和教育の推進）
- (2) これからの社会をよりよく生きるための力を育てる学校  
(学力育成・キャリア教育の推進)
- (3) 安全・安心で地域から信頼される学校 （危機管理・学校機能の強化）
- (4) ふるさとへの愛着と誇りを育てる学校 （ふるさと教育の充実）

## 3、令和5年度の学校づくりの柱

**教職員の合い言葉（まずは、教職員が元気に！）**

『 明日も来たくなる学校 』 ～ “挑戦と協働” を目指して！ ～

### □ 柱その1 『授業づくり』

《主体的な学びを育てる授業改善の取組》

◎「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の工夫と実践および授業研究

- ・I. C. T機器(タブレット)の有効な活用研究 ・学校図書館の活用
- ・学習課題や思考の見える化(思考ツールの活用と工夫)
- ・協同学習による主体的な学習集団づくり

○きめ細かな学習指導と学習習慣の育成

- ・基礎、基本の定着を図る学習指導 ・継続的な家庭学習の習慣づくり

◎ふるさとへの愛着と誇りを育むふるさと教育の推進 地域のひと・もの・こと」の活用ブラッシュアップ



### □ 柱その2 『組織的な生徒指導・生徒支援』

人権教育を基盤として

## 《生徒の主体性(挑戦)と社会性(協働)を育む生徒会活動・学校行事・部活動の推進》

- ◎生徒の主体性、協働性を育てる生徒会活動の充実
  - ・生徒会リーダーの育成と各委員会活動の活性化
- 自己有用感、自己肯定感を高める取り組みの推進
  - ・絆づくり(全ての生徒が活躍できる場と機会の設定)



## 《生徒の主体性(挑戦)と社会性(協働)を育む積極的な生徒指導の推進》

### ☆「報・連・相」の徹底 危機管理の「さしすせそ」

- ◎基盤となる学級経営、学級集団づくりの充実 居場所づくり(安全・安心な学校づくり)
  - ・担任や学年部の思いある集団づくり
  - ・家庭との丁寧で小まめな連携
- 教育相談の充実と問題行動・不登校生徒への組織的な対応
  - ・様々な場面での教育相談活動の充実
  - ・保護者やPTAとの連携 まずは寄り添い、丁寧な説明を!
- 学習不振の生徒への支援指導体制づくり
  - ・放課後学習会(江東サポートタイム:木曜日) ・個別の学習指導/支援の検討
- 健康で安全な生活と生活習慣の確立
  - ・交通安全指導の徹底 ・危機管理意識の徹底
- 地域・保護者、小学校との連携
  - ・積極的な授業公開や地域行事への参加 ・各種たよりやHPによる情報公開



## 《特別支援教育の組織的な推進》

### ☆専門機関(教育委員会、医療、福祉等)と連携した支援の充実と理解教育の充実

- ・専門的知見に立った適切な実態把握と見立てを得る ・個別の支援計画の作成と個別指導の充実
- ・丁寧で根気強い保護者との連携と、具体的な見通しをもった相談の実施

## □ 柱その3 『元気ができる働き方』

### 《働き方改革の見える化と意識化》

- ◎担当業務の整理と優先順位付け(ツールの利用、スケジュール管理) ・「協働」の推進

### 《服務規律の確保》

- ・個々の人権意識の高揚と日頃のコミュニケーションを大切にした教職員集団づくり
- ・ハラスメントに関わる相談窓口(教頭・養護教諭・生徒指導担当)の設置

## 4、おしまいに ～ 保護者の皆さんと大切にしたいこと ～

- 学校と保護者がつながって、見通しがもちにくく、科学技術の進歩に振り回されそうなこれからの時代を生き抜いていく子どもたちに、『よりよい生活を創り出す社会力』を育てていきたい。
- コミュニケーションを大事にし、仲間や大人と関わりつながることで、『つながりあって、共に伸びる人間力』をもつ子どもたちを育てていきたい。
- なりたい自分を描き、失敗しても目標とすることに挑戦し続けることができる、『よく考え、自分から取り組む課題解決力』をもつ子どもたちを育てていきたい。